

氏名	伊 藤 利 幸
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3 1 3 2 号
学位授与の日付	平成 9 年 6 月 3 0 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Glomerular TGF- β_1 expression in children with nephrotic syndrome (小児ネフローゼ症候群における糸球体 TGF- β_1 の発現)
論文審査委員	教授 榎野 博史 教授 大森 弘之 教授 岡田 茂

学位論文内容の要旨

糸球体腎炎の発症や進展に、Transforming growth factor- β (以下 TGF- β) が関与していることが示唆されているが、ネフローゼ症候群における TGF- β の役割についての検討は不十分である。われわれはこの点を明らかにするため、ネフローゼ症候群の糸球体 TGF- β_1 の発現を免疫組織化学的に検討した。微小変化型 (6 例) 及び巣状糸球体硬化症 (4 例) の糸球体で検討した結果、巣状糸球体硬化症群では微小変化型群に比し TGF- β_1 が強く発現していることが示された。同時に検討した正常糸球体では、TGF- β_1 の染色は見られなかった。これらの検討から、ネフローゼ症候群の進展においても TGF- β_1 が重要な役割を果たしていることが推察された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究はネフローゼ症候群における transforming growth factor - β (TGF- β) の役割を明らかにするため、ネフローゼ症候群の糸球体 TGF- β_1 の発現を免疫組織化学的に検討した。微小変化型 (6 例) 及び巣状糸球体硬化症 (4 例) の糸球体で検討した結果、巣状糸球体硬化症群では微小変化型群に比し TGF- β_1 が強く発現していることが示された。同時に検討した正常糸球体では、TGF- β_1 の染色は見られなかった。これらの検討から、ネフローゼ症候群の進展においても TGF- β_1 が重要な役割を果たしていることが推察された。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。